

地域の現状

- ・人口の減少、若者の流出、急速な高齢化
 - ・外国人留学生・労働者の着実な増加
 - ・地方中枢・中核都市からの遠隔地において、大幅な人口減少が見込まれ、低密度・無居住地域が拡大。
 - ・中心都市人口30万人以下の都市圏では、市街地人口が縮小。
-
- ・市町村合併
 - ・地方分権化の流れ
 - ・若い参加者を得て、かつて日本に存在していた住民自治組織が姿を変えて復活の動き
 - ・元気な団塊の世代がリタイア時期
-
- ・行政の厳しい財政状況、更新投資の増加による新規投資の減少
 - ・厳しい建設業（公共事業の減少）
 - ・厳しい製造業（東アジア等への工場移転、国内消費の減退、工場誘致に期待出来ず）
 - ・厳しい商業、駅前商店街の衰退と郊外化（いくつかの都市では都心回帰）
 - ・失業率の上昇、無就業の若者の増加
 - ・サービス業の堅調な伸び、だが雇用を十分吸収するには至らず
 - ・いくつかの業種では高い起業、だが全体的に起業は低調
 - ・いくつかの地域では活性化に成功し、外来者や税収などが大幅に増加
 - ・工場、学校、リゾートホテルなどの廃業等による建物・土地の遊休化